

## 2024 年フクシマ連隊キャラバン報告書

私は 19 日の茨城の自治体要請行動からの参加になりました。A コースの責任者として行動させていただきました。A コースは海に面した自治体が多く、ニュースなどで話題になっている汚染水海洋放出についての問題が残る自治体です。自治体要請の中で汚染水に関する質問をすると、「汚染水は国の判断で放出しているから、各自治体では関係ありません」との答えが返って来ました。また、避難計画が策定できたという自治体に、真に実効性ある避難計画についての質問もさせていただきました。「実効性はこれから検証する」との答えが返って来ました。実効性を確かめてから避難計画が策定できたのであれば住民も納得しますが、いまある計画は、なにも考えられていない形だけの計画だと感じ、とても怒りが込み上げたのを覚えています。

自治体要請行動では毎年、真に実効性ある避難計画の策定を要請していますが、いまだに「実効性はこれから」と言う自治体が数多くあります。汚染水海洋放出にしても、広域避難計画にしても自分たちの考えがなく、話しが通じない自治体との戦いはこれからも続いていきます。みんなで団結し、これからの原発問題について声をあげていきましょう。

また、2024 年フクシマ連隊キャラバンの団長が最後に宿題を出してくれました。帰ったら周りのみんなに伝えることを。皆さん、周りに伝えて、伝えて、みんなで日本がしっかりと変わるまで行動していきましょう。

全港湾東北地方ひたち支部青年部長 木村貴弘